

ふじぎごぼん

第172号

2015年
11月号

まきずしのえのふじぎ

おべんとうは たのしみ

みいこちゃんと りんくんの
ようちえんは、もうすぐ あきの
えんそくです。

「きょうは、おべんとうの まき
ずしの れんしゅうを しまし
よう。」と、おかあさん。

「まきずしの れんしゅうっっ」
「そうなの、なつやすみに ちば
の おばさまに おしえて いた
いただいたのだけど、 うまく でき
るかどうか、 しんぱいなあ。」
「やろう、やろう、 れんしゅうの
まきずしは たべられるんでし
よう?」

「もちろん。」

「わたしも、 おてつだいします
よ。」と、 あそびに いらして
いた があこきようじゆ。

「まずは、でんぷを まげた お
すしの ごはんを ほそく ま



いて、 それから、 ふとくまくわね。
おおきな のりのうえに 「ごはんで
しよう、ここに、たまごやき、ここ
に、みつば、でんぷはここで、 のり
をはさんで、ここに、きゅうり……。
それで、くるっとまいて。」まきずで
しっかり おさえた おかあさん、
できあがり を きつてみると、

「わーっ、おかあさん……おはな、
おはなができてる……!!」

「きった ようすを かんがえなが
ら、ざいりょうを ならべるのは
たいへんだと おもいますが、おみ
ごとです。」 があこきようじゆも、
おどろきです。

「おかあさん、おいしー。」

「あら、みいこちゃん、もうたべて
いるのね。よおし、こんどは、どん
なえに しようかしら。きようじ
ゆの おかおなんか どうかしら。」
「おかあさん、がんばって。」

かんたん？ いがい？ ためしてみよう！
ねんどで まきずしごっこ！なんの えが できる？

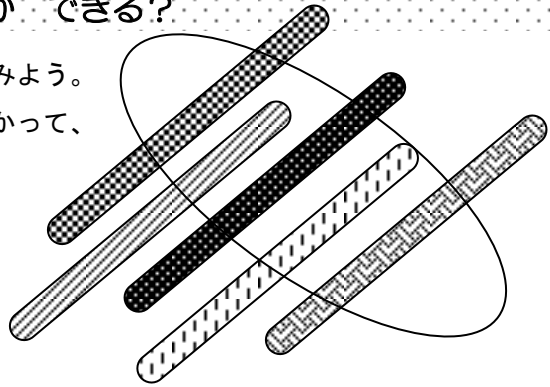
おうちのひとと まきずしに ちょうせんしてみよう。
こどもだけなら いろいろのついた ねんどを つかって、
まきずしごっこ。

ほそながくした いろいろなねんどをならべて、
まとめて、いっぼんにする。

それを、きってみよう。

おはなや どうぶつ、

だれかににせた かおも おもしろそう。おもいどおりにできるかな。



クイズコーナー

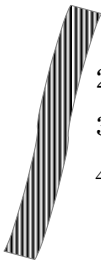
① まきずしに いれる かんぴょうは

1) さかなを ひらいて ほした
もの

2) にくを ほして にたもの

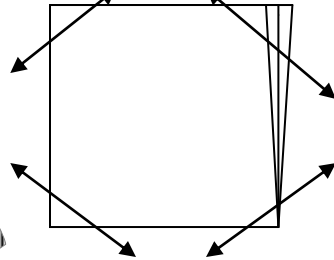
3) おとうふを かためたもの

4) うりを うすくきって かわ
かしたもの



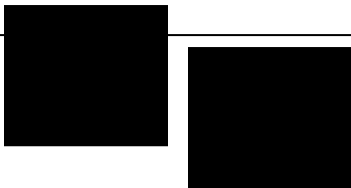
②

にかい たたんだ よつおりの
おりがみ。よすみを きった。
ひろげたら どんなかたち？



おすしにかかせない“のり”なら

からすやの
や き の り



くろくつややかで
こうばしさバツゲンです。

みんなが みつけた ふしぎ

プルーンは なんて ほすと

まっくろなの？

なまのは なかが ふつうなのに。

(みの なかが しろっぽいのに)

(E i k o.)

みんなも みつけた
ふしぎ おしえてね

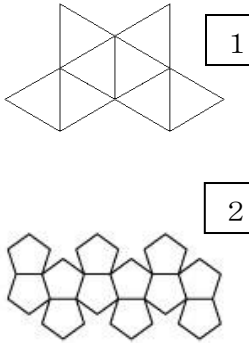
組み立てると別物

昔は、豪華な巻きずしは人寄せの「ごちそうや、運動会のお弁当の定番の一つでした。黄色は卵焼き、桃色はでんぷ、茶色いかんぴょう、こい茶色のシイタケのつくだ煮、鮮やかな緑の三つ葉やさや豆など・・・ばらばらにすし飯の上に並べていくこれらのものが、のりや厚焼き玉子でくるりとまかれて大変身。輪切りにすると真ん中にかたまった色とりどりの具とすし飯の白の美しいコントラストが現れ、思わず歓声が上がります。

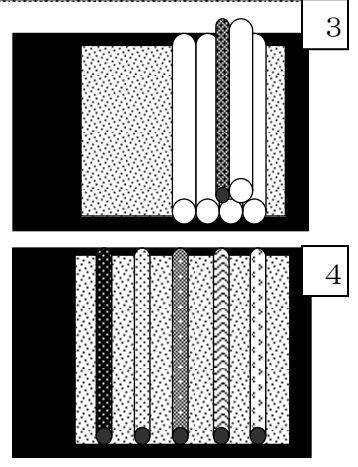
端っこは余った具が顔を出していたりしてお味見に最適。大人の人が巻きずしを作る日は、いつもお寝坊の子どもも、真っ先に起きだして、ご用意からワクワクと眺めていたものでした。

巻きずしの面白さは、数学でいえば平面の展開図が組みあがると、思わぬ立体が出来上がるのに似ています。

これは組み上げるとどんな形になると思いますか？

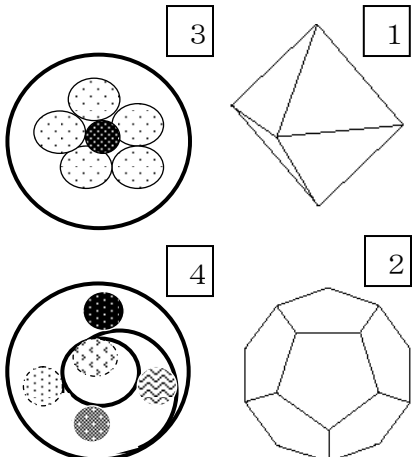


では、次のように並べた巻きずしはどんな柄になるでしょう。答えは最後に載せておきますね。たとえば、「いちばんわかりやすい」飾り巻きずしの作り方（主婦の友生活シリーズ）川澄健著などはなかなか楽しい本です。



子供たちが遊ぶとき、展開図と立体、立体と断面図などを体験できるのが粘土遊びや折り紙でしょうか。

特に粘土で巻きずしごっこ（あるいは金太郎あめごっこ？）は楽しいものです。大人もちよっと子供の色とりどりの小麦粘土でも借りてかわいい柄の巻きずしを考案、実際のご飯で試してみるのがいいですね。



子供が見つけた不思議・ミニ解説

ドライプルーンは食べると確かに中まで黒く見えます。正確には濃茶えんじ色とでも言いましょうか。プルーン以外にも紫のブドウを干したドライレーズンもほとんど黒っぽく、かじっても中から白っぽい実が見えてきません。しかし、どちらも生の実の内側には薄いグリーンのジューシーな果肉部分があります。それがどこにいったの？と聞かれ、なるほど！よく気が付いた不思議です。プルーンや紫のブドウの皮には大量の青い色素が含まれていますが、黄緑の果実部分にはほとんど含まれていません。一方、水分は皮の部分より実の柔らかい部分が圧倒的に多いことはお分かりでしょう。乾かしたものは水分がほとんどなくなるので（質量で7割くらいといいます）、柔らかい実の部分がほとんど繊維だけで見えなくなってしまいます。また、実の部分の細胞が壊れ、皮の部分の色素が入り込んで全体黒っぽくなります。

日差しが深く...

夏に比べてすっかり太陽の高度が低くなってきました。部屋の奥まで差し込む日差しがガラス越しに暖かく快い季節です。どんぐりひろいも、数珠玉摘みもそろそろ終わり。ススキもすっかりほおけてきました。元気だった虫たちも産卵を終え、親は土にかえり、卵は眠っています。これから冬支度にかかる木々の色づきを楽しみながら、たくさんのふしぎに出会ってください。ふしぎ新聞は皆様からのふしぎを元にできております。無料でダウンロード可。少しばかり更新が遅れますがお許しを！紙面でお読みになりたい場合は、一年間（11回）の1100円を定額小為替か小額切手でお願ひしています（3部まで同封可）。

連載 よみきかせ ふしぎストーリー

シヤケの来る川 ⑤ ふたば幼稚園のお話
目ばかり大きいシヤケのあかちゃん。やっと川の中を泳ぎ始めたら、どうなるのでしょうか。

大きな熊さんみたいな園長先生ですが、優しくて何でもよくご存知です。きっとシヤケがその先どうやって大きくなるかも、お話ししてくれることでしょう。

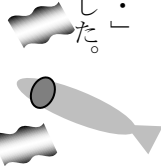
みんなは、とてもおとなしく、園長先生のお言葉を待ちました。

「シヤケの稚魚は、まるで、皆さんが

お部屋で飼っているメダカみたいなのですよ。たくさんいて、川の中にある虫などを食べて、少しずつ大きくなっていきます。そして、春の終わりになると、海に向かって、川を泳ぎ下っていくのです。」

「冬の間、川にいますんだ・・・」
「風邪ひかないかな？」

園長先生はにっこり。「よくわかりましたね。秋に卵で生まれて、春の終わりに海に向かって行くのですから、冬に稚魚になり川にいるわけです。でも、風



邪はひきません。シヤケは冷たい水が好きなのですよ。」
「こんどはみうちちゃんが目を丸くしました。だって、冷たい水は手を浸けるくらいならとても気持ちがいいのですが、じゃぼんと全身ではいると、がたがた震えてしまいます。夏に川遊びをしたときに、つるつと滑って、ばしやんとむねまで濡れた時、お母さんがあわてて服を脱がせてくれて、タオルで拭きながら、とても心配してくれました。」

「シヤケ・・・冷たい水が好きなんだ・・・」
「そうですね。4月から5月の頃、川を下って、海に行きます。海についてからも、ゆっくり準備をしながら、大きくなるのです。10センチくらいに・・・ああ、園長先生のこの掌の幅くらいの長さに、大きく育って、それからシヤケは北の海に向かって旅に出るのです。」

「旅に出るのかああ・・・冒険だね。」
みんな、園長先生の手のひらを見ました。メダカよりはるかに大きく見えます。いっぱい餌を食べて、シヤケは大きくなってから、北の海に旅立つのだなあ・・・と思いました。

「あ！わかった。」突然、ちあきちゃんが叫びました。「今、5月だよ！」 (つづく)



気象変動

気象変動のニュースは時々新聞を騒がせますが、しばらく取り上げられないこととまるでなかったことのように忘れられてしまします。ずいぶん以前に太平洋のツバル等の島々が、温暖化に警鐘を鳴らしました。珊瑚

サンゴ礁でできた海抜0mの島々で海水面上昇は死活問題だからです。それから十数年が過ぎ、この話題は思い出したようにしかニュースに上ら

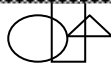
なくなりました。先日カトリック新聞にオセアニア司教協議会大司教様の海面上昇の影響に関するお話が出ていました。ツバルやキリバスといった多くの島々で、必要最低限の農地を失ったり、海水の浸透で農地

が使えなくなっていると訴えておられるのです。着々と自然の変化は進んでいます。直面していないと「のど元過ぎると・・・」で忘れがちな現代人。気を付けようと思っただけなことをぜひ忘れず続けましょう。継続こそ宝！

今月の話題より

ちょっと変わった絵本の楽しみ方

巻きずしが出てくる絵本、ううん、結構あるかと思いきや意外にハードルが高かった！巻きずしの絵がある絵本は見つけられませんでした。皆様、出会ったら是非お教えてください。お話の言葉の中に巻きずしが登場するのはこぎつねキッコのシリーズ「えんそくのまき」「うんどうかいのまき」(童心社) みんなの遠足や運動会をこっそり見に行くキッコ。「みつからないようにね」のかあさんのことばどおりには、なかなかいきません。だって面白そうで…。どちらのお弁当にも巻きずしの言葉が。巻きずしほど複雑なものではありませんが、だし巻き卵にあなごをまきこんだり、卵焼きもいろいろ巻いてみることも。やはり切るのが楽しみです。「おべんとう」(福音館)



は巻きずしではありません。卵焼きのきれいな断面が印象的な表紙。ちなみに絵本のお話の方はおいしそうなお弁当ができていく様子。年少さん向きでしょうか。「おべんとうなあに？」(偕成社) 森のみんなのピクニック、ゾウ君のお弁当が見当たりません。みんなで探してあげましょう。ここに出てくるのは手巻き寿司。ちょっと巻きずしとは違いますが、飾り方で花束のよう！ここからはお結びのお弁当。お結びは見えない中身が気になります。「やまのこどもたち」(岩波)の運動会のお弁当、「まゆとおに」(福音館)のやなんばママの色とりどりのお握り、「にぎりめしごろごろ」(同)はおじいさんの鬼の昔話、「おにぎり」(同)はお握りの結び方がわかります。「おでかけのまえに」(同)子供の行動をととてもよくとらえた、林明子さんの名作。どのお弁当もなかなかおいしそうですね。

クイズ解答 1) 4 瓢(ふくべ)の果実をひもにむいていって乾かしたもの(干瓢)。ふやかしてから煮て味を付ける。 2) これはぜひ試してみてください。